

分科会へのおさそい

今年は4つの分科会が企画されています。それぞれの分科会での議論を担当者にまとめて貰いました。しかし、どれか一つに決めるのは難しいですね。

1 議会分科会（会場：3号館—メイン会場）

全体会に引き続き、議員通信簿調査で一端が明らかになった議員の質問の貧弱さの原因がどこにあるか、議員通信簿の調査で現れた具体的な質問を例に議論を行います。

会場からの発言も募りながら、議会で議員に良い質問をさせるために、市民として何ができるかをシンポジウム形式でより深く考える会にしたいと思います。全体会で発言したくでも発言できなかった方はこの分科会で。もちろん、現職の議員の意見も歓迎です。

担当 児嶋研二

2 包括外部監査の活用マニュアル分科会（会場2 1号館4階）

包括外部監査をテーマとした分科会をもつのは、2004年の第11回函館大会以来でしょう。2000年から始めた「包括外部監査の通信簿」（イエローブック）は年ごとに分厚い報告をしていますが、一般市民には難しいことと思われがちで市民オンブズマンの方にとっても十分活用されているとは言えません。もちろん行政もです。

今回は、今年の包括外部監査人・補助者の方、また行政首長の方も分科会に参加していただき、率直な御意見をいただく予定です。レジュメ（大会資料集に掲載）や今年のイエローブックも参考にして御参加いただき、具体的な活用方法について話し合いたいと思います。

担当 井上善雄

3 警察問題分科会（会場2 1号館4階）

2004年の函館での全国大会をきっかけとして発足した「明るい警察を実現する全国ネットワーク」の発起人であり、現在「市民の目フォーラム北海道」の代表者の原田宏二さんを講師としてお招きし、監視カメラを警察が積極的に活用していることの問題などを中心として「監視社会と警察」をテーマとしたご講演をしていただきます。元北海道警釧路方面本部長であられた原田さんだからこそ指摘できる警察国家化への警鐘は重要です。

また、同ネットワークが精力的に取り組んだ違法職務質問国家賠償訴訟の一部勝訴判決を紹介し、その意識を探ります。秘密保全法の問題に関心のある方もぜひご参加下さい。

担当 清水 勉

4 市民オンブズ何でも分科会（会場2 1号館4階）

今年も各地のオンブズは様々な活動をしてきました。「全国にこういう活動を伝えたい」「他の地方で同じような問題はないだろうか？」「こんなとき、どうしたらいい？」。住民監査請求や住民訴訟のノウハウ、情報公開の仕方やどう争ったらいいかについて意見交換したいことは山ほどあるのでは。

この分科会では、そういった皆さんの疑問、質問を、参加者の経験や知恵を持ち寄って解決し、共通の問題を全国に広げるきっかけにしたいと思っています。自分ら以外の地域でもきっと同じ問題があるはずーそう考えることが私たちの原点であり、次の全国大会のテーマとなるかもしれません。

担当 新海 聡